

# 異業種コラボレーション ～きりすねを利用した商品開発～

【相手先企業】 茨城県本場結城紬織物協同組合内 15 社、有限会社工房ゆりーこ

## 【 内 容 】

茨城県本場結城紬織物協同組合内 15 社（18 名）と工房ゆりーこの異業種コラボレーションとして、9 月より「きりすね利用研究会」を発足しました。きりすねを利用した商品の検討や製作法・色合わせの勉強会など、9 回活動した中で商品化した茶托を国民文化祭いばらき 2008 期間中の織協作品展の会場で展示販売しました。また、東武百貨店池袋店で開催された伝統的工芸品展 WAZA2009（2/26～3/3）に出展し、茶托を中心にきりすねアクセサリーの展示販売を行いました。3 月より一般の方向けに工房で講習会を開催し、1 年後を目標に公民館での市民講座として開講を目指します。



研究会活動



茶托の商品化（価格：¥1000～1800/枚）



伝統的工芸品展 WAZA2009 展示販売(東武百貨店)



きりすねとは・・  
紬の未利用資源  
です



きりすね部位(赤丸部分)

これ以上織ることができないところまで  
いくと、横から、写真のように鉋をいれて  
経糸を切ります。その切った残りの部分  
をきりすねと呼んでいます。

！  
きりすねの  
資源価値

1 反から出るきりすねの量(長さ2 尺× 本数1300 本)を2600 尺とすると、年間出るきりすねの総量は、9,360,000 尺(3,556,800m)になります。

価格に換算すると、おおよそ9,000,000 円という金額になり、これらのものが使われず、タンスに眠ったままになっているか、廃棄されてしまっている現状があります。

基礎となった事業 平成19年度 オンリーワン技術開発支援事業（共同研究）

現在の担当部門 紬技術部門 主任 本庄 恵美 TEL：0296-33-4154